

# I 平成23年度

## 予算概算要求総括表

# 平成 23 年度 厚生労働省予算概算要求総括表

## 一般会計

(単位: 億円)

区分	平成 22 年度 予 算 額 (A)	平成 23 年度 要求・要望額 (B)	増△減額 (C) ((B) - (A))	増△減率 (C) / (A)
一般会計	275, 561	287, 954	12, 393	4. 5%
年金・医療等 に係る経費等	262, 652	275, 012	12, 359	4. 7%
総予算組替え 対象経費	12, 909	11, 655	△1, 254	△9. 7%
元気な日本 復活特別枠	—	1, 287	1, 287	—

(注1) 平成 22 年度予算額は、当初予算額である。

(注2) 計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と合致しないものがある。

- 年金・医療等に係る経費については、前年度当初予算における年金・医療等に係る経費に相当する額に高齢化等に伴う自然増を加算した額の範囲内において要求することとし、自然増部分についても、できる限り合理化・効率化に努めることとする。
- 「マニフェスト施策財源見合検討事項」の取扱いについては、安定的な財源の確保とあわせて、予算編成過程において検討する。
- 予算編成過程で検討
  - 1 子ども手当 1.3 万円の上積み分
  - 2 雇用保険国庫負担本則戻し
  - 3 求職者支援制度 等

## 特別会計

(単位 : 億円)

区分	平成 22 年度 予 算 額 (A)	平成 23 年度 要 求 額 (B)	増△減額 (C) ((B) - (A))	増△減率 (C) ÷ (A)
特 別 会 計	842,693	841,037	△1,656	△0.2%
労働保険 特別会計	53,078	44,899	△8,179	△15.4%
年金特別会計	789,615	796,138	6,523	0.8%

(注1) 平成22年度予算額は、当初予算額である。

(注2) 特別会計の金額は、それぞれの勘定の歳出額を合計したものである。ただし、労働保険特別会計においては、徴収勘定を除いたものである。

(注3) 計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と合致しないものがある。

## 平成23年度予算の概算要求組替え基準

「要望」基礎樞2.3] + [3A]

元気な日本復活特別枠  
(1兆円を相当程度に超える)

自然增 1.3

国会、裁判所、会計検査院 0.5

22年度 基礎的財政收支対象経費 約71兆円

4

・効率化を行う。

90%を下回る自主的な歳出削減▲

年金・医療等+恩給 272(※)

地方交付税 175(三)

年金 医療介護  
雇用 + 恩給 0.7

概算要乘粹 22.1

（高校の実質無償化、農業の戸別所得補償、高速道路の無料化 1.1（※））

その他の経費 249(※)

## 経済危機対応 ・地域活性化予備費 1.0(※)

予備 035(※)

(単位:兆円)

注:※印の計数は22年度予算額。

# 平成23年度 厚生労働省概算要求のフレーム

## マニフェスト施策財源見合検討事項

- 子ども手当 1.3万円の上積み分
- 雇用保険国庫負担本則戻し
- 求職者支援制度



自然増 + 1兆2,400億円

「元気な日本復活特別枠」  
要望基礎枠 1,287億円

※優先順位を付け要望

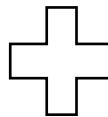


※ 人件費の平年度化等は加減算する  
(+31億円)

## 総予算組替え対象経費

22年度 1.3兆円

- 公共事業関係費
- 人件費、義務的経費
- 裁量的経費



## 年金・医療等に係る経費等

22年度 26.3兆円

90%  
23年度要求枠  
1兆1,655億円  
※他所管との額の調整  
2億円を含む。

- ※1 年金国庫負担(は1／2)で要求。  
ただし、財源(は予算編成過程で検討)。
- ※2 政府全体  
「元気な日本復活特別枠」 ⇒ 1兆円を相当程度超える額  
  - 要望基礎枠 (政府全体) 2.3兆円
  - 政策コントストを実施し、総理が配分を決定